

自己改革の実践！

—JAくろべの取り組み(平成29年度)—

現在、JAくろべでは「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つを基本目標とし、自己改革に取り組んでいます。

この3つの基本目標の実現に努め、地域の農業とくらしになくてはならないJAをめざしています。

今回の特集では、JAくろべの「自己改革」の平成29年度取り組み内容の一部をお伝えします。

自己改革の実践には、組合員の皆様の声が必要です。取り組みに対して、組合員の皆様の声をお聴かせください。



©よい食P

自己改革

農業者の所得増大
農業生産の拡大

● 農業者の所得増大・農業生産の拡大

所得増大・生産拡大をめざした地域農業戦略の策定・実践

◆ アグリミーティングの開催

平成29年8月：第1回アグリミーティング開催
参加人数：65名

出向く営農指導体制の整備と担い手サポート機能の充実

◆ 情報交換ミーティングの開催

営農部門・金融部門の連携した訪問活動
平成29年4月／10月／11月：合同会議開催
平成29年10月／12月：合同巡回実施



第1回アグリミーティング開催

マーケットインに基づく生産・販売事業方式への取り組み推進

◆ 農産物の有利販売

良食味値の黒部米の有利販売

良食味米受入数：7,998.5俵（良食味米率：9%）
良食味米の最終精算プレミアム価格設定
28年産米価格差：100円／俵

◆ 複合経営の拡大

野菜（園芸作物）専用のビニールハウス導入に対する助成事業
平成29年度導入実績：6棟



玄米茶「黒部米茶」の委託製造・販売

付加価値の増大と新たな需要開拓への挑戦

◆ 六次産業化の推進

玄米茶「黒部米茶」の委託製造・販売

平成29年4月24日より販売開始
にんじん、丸いもの加工品の試験販売



にんじん、丸いもの加工品の試験販売

職員の農家訪問研修

◆ 農業体験と農家組合員の皆様とふれあう取り組みを実施

● 農業者の所得増大

低コスト生産技術の確立・普及

◆ 水稻直播栽培の面積拡大

作付面積：約151ha

(うち、鉄コーティング83ha/乾田52ha/カルパー16ha)

平成29年6月14日・27日/12月6日

：コーティング及び栽培研修会の開催

◆ 園芸用の貸出機械導入

平成29年8月：野菜移植機2台導入

農事懇談会及び広報誌などでの導入紹介と作付推進

《平成29年度 野菜移植機利用》

種類	29年度実績
キャベツ	121a
白菜	39a



コーティング及び栽培研修会



野菜移植機導入

生産資材などの価格引下げに向けた取り組み強化

◆ 肥料の予約自己引取を実施

平成29年予約自己引取件数：35件 数量：1,952袋

◆ 肥料・農薬の仕入見直し、当組合の手数料率見直しを実施

◆ 肥料の銘柄集約を実施

◆ 農薬の大型規格品（10kg規格）の取扱い

● 地域の活性化

地域コミュニティの活性化と組合員・地域住民への健康増進活動の実践

◆ 食農教育として農業体験学習の継続実施

実施校数 学習田 : 4校

バケツ稲作：5校

◆ グリーンツーリズム、都市学習交流文化事業などの取り組み

平成29年7月25～28日

：「名水の里くろべ こども自然体験村」の実施

◆ 料理講習会などの継続開始

6月/8月/10月/12月：料理教室 開催

5月/10月：集落講習会 開催

12月：シニア元気教室 開催

1月：テーブルマナー教室 開催

◆ 農業祭や支店納涼祭などの開催

平成29年7月：東部支店・アグリプラザ東納涼夜店

平成29年11月：第2回農業祭

◆ 組合員・地域住民への健康増進活動の実践

健康相談会…年間8回開催

人間ドック…年間受診者 332名



農業体験学習の継続実施



料理教室の開催